医療法人社団 医啓会広報誌

医啓会だより

VOL.16

発行元
医療法人社団医啓会
責任者
松本　正道
発行日
2022年10月1日

暦の上では立秋から11月の立冬までが秋。今年は9月中旬まで例年にない暑さの残る気候でしたが「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように「秋分の日」の頃からは朝晩がめっきり寒くなりました。秋は気候の変動にあわせて健康状態も大きく変わる季節、体調の管理には十分な注意が必要です。

	環境の変化・要因 ⇨	発症しやすい疾病(症状) ⇨	健康管理のポイント
立秋～9月下旬頃～	**夏に冷たいものを摂りすぎて** 胃腸が弱っているかも **朝と晩が寒い** 秋を感じる時期になりました **今年は特に大型台風が多く発生！** 台風の通過前は気圧が低下し、気温と湿度が高くムシムシ、台風の通過後は気圧はさらに低下、気温は下がり湿度も低下して空気は冷たくカラカラに **換気や掃除が不十分になります** 気温が下がると窓を開けての換気や掃除の機会が減ります 	**腹痛、下痢など** **冷え、不眠、自律神経の乱れなど** **ぜんそく、頭痛、めまいなど** **ぜんそく、アレルギー性鼻炎やアレルギーによる皮膚疾患など** 	**胃腸をいたわりましょう** 夏の食生活から脱却、冷たいものを控えて温かいものへ **早めに衣替えをしましょう** 夏用のパジャマや普段着を秋用に替える **秋の気温に合わせた温度管理を** エアコンの使用は暑い日だけにし、あまり強く冷やさないで **気候の良い日は軽い運動を** ウォーキングやストレッチなどの運動最適 **寒さ対策をしてお部屋の換気も定期的に** **おかしいなと思ったらすぐに受診を!!　我慢は禁物です**
10月頃～	**秋の花粉が飛散する時期です** ⇨ 主に杉、ブタクサ、キク科など **今年は早めに流行の兆しも** ⇨ この秋～冬は特に要注意!! **魚介類などの生食に注意!!** ⇨ 感染性胃腸炎は脱水症状をおこしますので高齢者には要注意です	**花粉症** ⇨ 涙、鼻水、倦怠感、頭痛など **インフルエンザ** ⇨ 咳、鼻水、頭痛、喉痛、高熱など **ノロウィルス胃腸炎** ⇨ 激しい腹痛・下痢・嘔吐、感染力が強く予防接種はありません	**症状を感じたらすぐに受診を** 毎年発症する方は早めに予防を **予防接種が効果的** 10月下旬頃から受付致します **感染経路の遮断** 生ものを食べない、調理器具の消毒、食事前・用便後の手洗いなど

徹底 感染症対策!!　ワクチン接種 | マスク | 手洗い | 人ごみ回避 | 部屋の換気 | 食品の加熱

コロナ禍でも負けずに頑張る、日本全国 315件 の注目情報

役に立つ
ブックシリーズ

今の大ヒットはこれだ

2022年度版が
発行されました

1章	2章	3章	4章	5章	6章
キラリと光る アイデア！ 注目のアイテム	令和時代の エキス パート	美味しい食と 行ってみたい スポット	美容と健康を 手に入れる スポットアイテム	**最前線医療現場 と 頼れる 専門ドクター**	日本を元気に するサービス ＆ ビジネス

暮らしに役立つ注目情報が大集合!! 松本理事長も掲載されました。

受付カウンターにございますので、診察や検査結果などをお待ちの時間 にぜひご覧ください。

最新鋭のCTを駆使しがんを早期発見 温熱療法で治療効果を高める

二人に一人ががんにかかるといわれている時代に、最新鋭の医療機器で、早期発見・早期治療に挑戦し続ける医啓会の取り組みがわかりやすく紹介されています。

神戸市北区の「医療法人社団医啓会」は「地域のかかりつけ医」として開設以来３５年。
本院の松本クリニックと分院の有床診療所松本ホームメディカルクリニックは、病気の早期発見・早期治療に取り組んでいますが、なかでも特に力を入れているのが、最新検査機器によるがんの早期発見と高周波ハイパーサーミアという温熱療法によるがんの治療です。

早期発見で大きな役割を果たしているのがコンピュータ断層診断装置の最新鋭機種「**80列マルチスライスCT**」。

このCTは 臓器を0.5mm幅で同時に 160断面の撮影ができしかも被爆線量を最大75％まで低減できる装置で、患者さんが寝台に横になるだけで苦痛なく頭部や胸部・腹部を鮮明に撮影できます。
今までは整形手術などで金属類が体内にあるとその周辺の形状が不鮮明になる問題がありましたが改善され、今まで見えなかった領域も観察可能になりました。
また大腸CT検査では画像をコンピュータ処理することで内視鏡で観察しているように大腸内部の構造を三次元で立体的に観察することができます。

もう一つの武器が、上部消化管(食道･胃･十二指腸) および 下部消化管(大腸)の早期がんやその他の病変を診断しすぐに治療を開始することに役立っている最新鋭の内視鏡鏡検査機器です。
画像が従来の機器よりも格段に鮮明になり微細な病変も発見できるようになりました。特に上部消化管の検査は細経内視鏡を使用し経鼻的に行うため、口から行う場合と比べものにならないほど楽になりました。

「**高周波ハイパーサーミア**」は、手術・放射線治療・抗がん剤治療など、従来のがん治療法と組み合わせて治療効果を高めるものです。
人の細胞が42.5°C以上になると急速に死んでしまうことを利用して、がん細胞の温度だけを選択的に上昇させがんの活動を和らげる療法で「サーモトロンFR８」という装置を使用します。
がん病巣を中心に体の表面から二極の電極版で挟み、

その間に８MHz の高周波を通すことで、がんの局所の温度を上昇させます。
がん細胞に加温した場合、がん細胞は血流が増えないため熱を逃がすことができず死滅に向かいます。
従来のがん治療と併用すれば、がんを小さくしてから手術ができる、再発が抑えられる、がん細胞の放射線感受性を増感させることができるなどのメリットがあり、脳腫瘍以外の様々ながんが対象になります。

地域医療と福祉の充実に取り組み続ける医啓会の関連施設も紹介されています。

訪問看護ステーション
はなみずき　※笑顔と真心で

住みなれた地域で安心生活を…
おもいやり　※ご相談受付中

お一人おひとりに寄り添って…
まごころ　※ご相談受付中